

1-1 農業

朝日町の「農業」の現状

朝日町では、地域の特性を活かした果樹を中心とする農業所得の増大のため「日本一のりんごづくり」に取り組み、「無袋ふじ」として最も優秀な品質の生産地としての地位を確立し、国内外の市場で高い評価を得ています。また、地元産のぶどうを主とする朝日町ワインについても、全国のコンクールで入賞したり、国際会議で提供されたりする等、高く評価されています。その他にも西洋なし、さくらんぼ、もも、すもも等の果樹に加え、米やその他の園芸作物等、農業が町の基幹産業として発展してきました。

しかし、人口減少を伴う少子高齢化により、農業者の後継者不足や繁忙期の人手不足が深刻化しており、耕作放棄地の増加が問題となっています。これからの農業を守っていくためには新たな担い手の確保による優良農地の第三者継承を促すことが重要であり、特にりんごに関して令和4年度に「あさひりんごの郷協議会」を立ち上げ、

町や関係団体との連携強化を図っています。加えて、高度な栽培技術とスマート農業による作業の省力化や低コスト化とともに、6次産業化や複合経営などによる生産者の所得向上を目指し、再生産と持続可能な農業経営の実現に向けた支援を拡充していく必要があります。

さらに、高齢者や定年帰農者が生きがいとして行う農業によって健康寿命を延ばす取組や、オーナー制度や観光果樹園を通じた農業体験によって交流人口や関係人口を増やす等、農業がもたらす効果を他分野に波及させ、地域の活性化を図ることが求められます。

今後、町の基幹作物である農業についてはこれまでの取組に加え、りんごをはじめとする様々な作物の自然や歴史、伝統・文化、人など町特有の地域資源と絡めたストーリー性を町内外に発信することで、高品質なフルーツ産業によるまちづくりを目指していきます。

1-1. 農業

👉 主担当課：農林振興課



🏆 これからがんばること

- りんごを核とした高品質なフルーツ産業により朝日町ブランド力のさらなる向上を図る
- 米、施設園芸等を組み合わせた農業の多角化を図り、所得の向上を目指す
- 農業の法人化を図り、若者や女性、活力ある高齢者等多様な担い手を育成する等、持続的な農業経営に向けた取組を進める

各プロジェクトの達成度について 😊 良好 😄 概ね良好 😞 やや不良 😞 不良

朝日町ブランドの代表である 高品質なりんごづくりを続ける

町民等に期待される役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ りんごの品質向上と優良品種の導入に努めます。	😊	見直し	▶ りんごの品質向上と優良品種の検討と導入に努めます。
▶ 包装デザインを見直すなど顔の見える農産物出荷を心がけます。	😊	継続	▶ 包装デザインを見直すなど顔の見える農産物出荷を心がけます。
▶ 生産組合等は技術交流や統一共選によって相互の連携を深め、海外輸出を続けることで朝日町ブランドの向上に努めます。	😊	見直し	▶ 生産組合等は、ふるさと納税や海外輸出等に取り組むことで、技術交流や統一共選によって相互の連携を深め、朝日町ブランドの維持に努めます。

行政が担う役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ 研修会を開催し、高齢化や労働力不足に対処するための生産技術や新たな栽培技術の普及に努めます。	😊	見直し	▶ 行政はもとより、生産者独自の研修会を活性化させ、高齢化や労働力不足に対処するための生産技術や新たな栽培技術の普及に努めます。
▶ 特に、生産・収穫作業の分散に資する早生・中生の奨励品種の導入・促進を支援します。	😊	見直し	▶ 特に、生産・収穫作業の分散に資する早生・中生の奨励品種の検討・導入・促進を支援します。

○主な関連施策：あさひりんごの郷協議会事業の推進、新半ワイ化栽培（朝日ロンバス方式※）等新技術・優良品種の検討、りんご生産組合間の連携推進、りんご海外輸出の促進、収入保険加入推進、災害対策事業

※朝日ロンバス方式...鋼管とエスター線を組合せ、りんご樹の主枝を誘引する仕立て。（「ロンバス」は鋼管とエスター線で形成される「菱形（rhombus）」の意）

2

多様な果樹のまちとしての 魅力を発信する

町民等に期待される役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生産される農産物を通して、農業体験・観光農園・民泊など新たなつながりを模索し、消費者との関係を強化します。 	☹️	継続	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生産される農産物を通して、農業体験・観光農園・民泊等新たなつながりを模索し、消費者との関係を強化します。
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 朝日町観光協会と協力し、果物ごとの旬に合わせたイベントを開催するなど消費者の交流の機会を増やし、朝日町の農業の魅力を発信します。 	😊	継続	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 朝日町観光協会と協力し、果物ごとの旬に合わせたイベントを開催するなど消費者の交流の機会を増やし、朝日町の農業の魅力を発信します。

行政が担う役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 西洋なし、さくらんぼ、ももなど多品種の果樹生産を支援し、フルーツ産業の振興に努めます。 	😊	見直し	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 西洋なし、さくらんぼ、もも、すもも等多品種の果樹生産を支援し、フルーツ産業の振興に努めます。
		新規	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 6次産業・農業体験・観光農園・民泊等の情報収集、発信を行い、多様な農業経営に取り組む農家を支援します。

○主な関連施策：多様な果樹への改植支援、6次産業・農業体験・観光農園・民泊等への立ち上げ支援、SNS等を利用した魅力的な果樹情報の発信

低コストで多様な農産品づくりを展開する

3

町民等に期待される役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ 高品質のブランド米づくりに挑戦します。		見直し	▶ 高品質のブランド米づくりに取り組み、地域の特色を活かした高付加価値のある商品づくりに挑戦します。
▶ 低コストの米づくりを導入し、高齢になっても続けられる農業を目指します。		見直し	▶ 低コストの米づくりの導入や作業受託組織の設立を目指し、高齢になっても続けられる農業を目指します。
▶ 施設園芸等との組み合わせや6次産業化を進め、生産の周年化を図ることによって農業所得の向上を目指します。		見直し	▶ 施設園芸等との組み合わせや6次産業化を進め、さらに新たな町の特産品となる生産物を検討し、農業所得の向上を目指します。

行政が担う役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ 生産技術の改良や機械化による省力化を支援します。		継続	▶ 生産技術の改良や機械化による省力化を支援します。
▶ 地場農産物を活用した加工品の開発に向けた取組を支援します。		見直し	▶ 地場農産物を活用した生産・出荷体制の整備や加工品の開発に向けた取組について、出荷先の確保まで、農商工連携した情報収集と発信に努めて支援します。
▶ 企業等によるシードル※やワインなど朝日町ならではの農産加工品の製造を支援します。		継続	▶ 企業等によるシードル※やワイン等朝日町ならではの農産加工品の製造を支援します。

○主な関連施策：売れる米作り事業支援、園芸施設整備支援、生産技術等の指導、新たな農産加工品等の開発支援、ワイン用ぶどうの栽培支援

※シードル...りんごを発酵させて造られるアルコール飲料(ワイン)。

4

安心して農業を続けていける 人づくりを進める

町民等に期待される役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ 研修会や先進地視察などに積極的に参加し、経営知識の習得に努め、法人化による所得向上と人材確保を図ります。		見直し	▶ 研修会や先進地視察等に積極的に参加し情報収集に努めて、経営知識の習得、法人化による所得向上と人材確保を図ります。
▶ 新規就農者に対する研修に協力し、定着を支援します。		継続	▶ 新規就農者に対する研修に協力し、定着を支援します。
▶ 農協等の関連団体は、農業者に対する技術指導や研修会を充実します。		継続	▶ 農協等の関連団体は、農業者に対する技術指導や研修会を充実します。
▶ 家庭では食の大切さを小さいころから理解できるような食育に努めます。		継続	▶ 家庭では食の大切さを小さいころから理解できるような食育に努めます。

行政が担う役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ ホープランナー(将来に希望を持つ農業者)、チャレンジファーマー(挑戦心の高い新規就農者)などの意欲ある農業者に対し、イベント等を通して消費者とつながる機会を提供し、農業の面白さを伝えます。		継続	▶ ホープランナー(将来に希望を持つ農業者)、チャレンジファーマー(挑戦心の高い新規就農者)等の意欲ある農業者に対し、イベント等を通じた消費者とつながる機会を提供し、農業の面白さを伝えます。
▶ 新規就農者や女性農業者に対する研修を充実させ、高齢者や障がい者等に農業を通じた社会参加を促すなど、担い手に合わせた支援の充実に努めます。		見直し	▶ 新規就農者や女性農業者等の研修生を高齢者でも受け入れやすい環境をつくり、さらに農福連携に取り組み、高齢者や障がい者等に農業を通じた社会参加を促す等、担い手に合わせた支援の充実に努めます。
▶ 法人化に向けて取り組む農家に対して、情報提供や財政支援を行います。		継続	▶ 法人化に向けて取り組む農家に対して、情報提供や財政支援を行います。
▶ 地産地消を進めるとともに、食育によって小さいうちから食に関心を持たせるまちづくりを進めます。		継続	▶ 地産地消を進めるとともに、食育によって小さいうちから食に関心を持たせるまちづくりを進めます。

○主な関連施策：農業法人化に向けた立上げ支援、新規就農者等担い手確保に向けた取組、新規就農に対する研修制度や財政支援の拡充、女性や高齢者等の特性に応じた支援、繁忙期の労働力確保の支援、農福連携の促進、農地の移譲・継承支援、農業労働力環境整備支援

将来性ある生産体制のための 環境を整備する

5

町民等に期待される役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ 離農時は、農地の譲渡や農地バンクに登録し活用を促すことで、耕作放棄地の発生を防ぎます。	☹️	見直し	▶ 離農時に農地を譲渡や農地バンクの活用を促すことで、耕作放棄地の発生を防ぎます。
▶ 中山間地域直接支払金や多面的機能支払交付金を活用し、美しい農地を守ります。	😊	見直し	▶ 中山間地域直接支払交付金や多面的機能支払交付金等有利な農地整備事業を活用し、美しい農地を守ります。

行政が担う役割

見直し前	達成度	方針	見直し後
▶ 農地集積化を支援して、耕作放棄地の発生を抑制します。また、有害鳥獣被害による営農意欲の減退を防止するため、電気柵の設置や捕獲を補助制度で支援します。	😊	継続	▶ 農地集積化を支援して、耕作放棄地の発生を抑制します。また、有害鳥獣被害による営農意欲の減退を防止するため、電気柵の設置や捕獲を補助制度で支援します。
		新規	▶ 農地バンクの情報発信と手続きについて支援、有利な農地整備事業の情報提供をしていきます。
		新規	▶ 内水面の環境保持や人工林の維持、管理を支援していきます。

○主な関連施策：耕作放棄地の発生を抑制する農地集積の支援、有害鳥獣被害対策、森林環境整備、魚族増殖・在来魚生態保全対策

🎯 めざす結果(数値目標)

農業

	▼策定時	▼実績	▼中間目標	▼最終目標	
	2016年度	2021年度	2022年度	2027年度 (見直し前)	2027年度 (見直し後)
新規就農者数 (2016年度～累計)	4人	20人 (5人)	25人	36人	➡ 46人
りんごの改植面積 (2016年度～累計)	3ha	6.1ha	10ha	15ha	➡ 17ha
一人当たりの農業収入額	432万円	427万円	443万円	454万円	➡ 454万円
農業法人(農地所有適格法人)数 (2016年度～累計)	3法人	5法人	5法人	8法人	➡ 10法人
販売用りんごの栽培面積 (2015年度～累計)	366ha (2015年)	306ha (2020年)		新設	300ha